

資格取得学習支援にスマートフォン

東京都青山、神奈川県相模原にキャンパスを持つ青山学院大学は、学生総数約1万8000人の総合大学である。相模原キャンパスに設置された社会情報学部では、文系・理系にこだわらない新しい人材像を掲げ人材育成を行っている。

特色の1つに先進的な情報教育があり、IT技術やIT経営戦略分野に力を入れる一方、情報処理技術者試験の資格取

得などもサポート。資格取得支援システム(アイコム社の「e-verystudy」)によってパソコンから継続的に学習できる仕組みを整えている。ASP型のため保守作業が少なく運営側の負担もかからないという。

ただ、学内での利用は、パソコンのある専用教室か自宅からパソコンを持参した場合に限られる。これだけでも便利だが、青山学院大学社会情報学部では、ち

>>> DATA

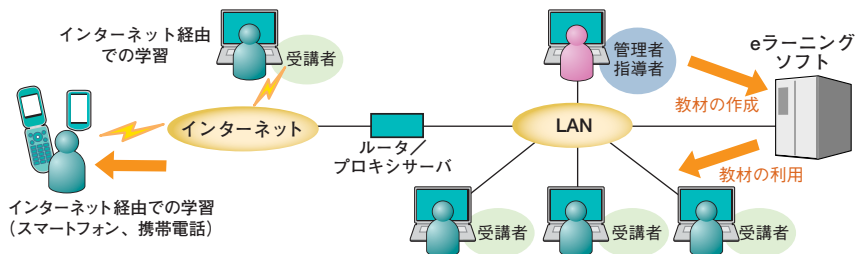
業種	教育機関(大学)
活用分野	学生の学習支援
テクノロジー	スマートフォン、携帯電話、ASPサービス

よとした空き時間にも学習ができればさらに効果が高まると考えた。そこで同システムをモバイルに対応させることにし、2009年5月にiPhoneを導入。学習用端末として学生に貸与し、資格取得学習をバックアップしている。サービス利用料金は1ユーザあたり年額2000円である。

実際の利用状況を見ると、モバイルアクセスや日中の講義時間帯以外の利用が増えており、当初の目的が果たされている。2009年10月の情報処理技術者試験ではすでに数十名の合格者を出しており、今後はさらに増える見込まれている。

同年10月には相模原キャンパス全体に展開され、さらに多くの学生が履修できるようにしていくとのことだ。現在はiPhoneとその他モバイル端末を合わせて400台が使われている。

図 大学におけるIT活用の概要



Profile

青山学院大学
<http://www.aoyama.ac.jp>

所在地

神奈川県相模原市中央区淵野辺
5-10-1

事業内容

大学(10学部をもつ総合大学)